



令和6年8月22日(木)
立川市立第一小学校
PTA 会長 名取雄太

一小 PTA 運営委員会だより

令和6年7月19日(金) 書面にて

運営委員会とは一小PTA本部が主催し、学校の先生・各クラス役員・地区委員が出席する、保護者と学校の代表委員です

1. 挨拶

<名取会長>

今回の運営委員会は書面開催とさせていただきました。意見や質問事項等ございましたら、LINEWORKS または PTA メールにお寄せいただけたらと思います。

さて、1 学期もまもなく終わろうとしています。PTA の各委員会の活動も本格的に動き始めていただき、ありがとうございます。役員人数などの体制が変わって戸惑いがある中でも、どうゆうことならできるか各委員ともご検討いただいております、頭が下がります。

こうした検討の中で、PTA 活動のあり方自体を考えるきっかけになっていると感じています。今年度の課題として入会の手続きや役員選考のあり方を挙げております。今回は、本部役員を中心に検討した意見をまとめています。ご覧いただき、ご意見などお寄せいただけたら幸いです。

それでは、暑い日が続きますが、皆様体調にはお気をつけてお過ごしください。

<田中校長先生>

一小PTA運営委員会委員の皆様、この第1学期間も大変お世話になりました。日頃から、ハートフルボランティアや挨拶運動、学習支援等、子供たちへの見守りをありがとうございます。さらに7月20日の災害時等における児童の安否確認訓練へのご協力にも感謝申し上げます。そして本年度も、学校に関わる全ての職員の顔写真入りの素晴らしい“一小広報 しばさき”を発行して下さり、大変にありがとうございました。今後、学校PRの様々な場面で活用を図らせていただきます。

昨年度に続き本年度も、学校教育目標の「心豊かで思いやりのある子」を重点目標に掲げ、全教育活動を通してその達成に向け取り組んでいます。本年度は、子供たちの“自己理解力・他者理解力”を高めながら、“主体性”“協調性”“粘り強さ”“向上心”の4つの視点で子供たちの心を育て、その先にある“自信”を育んでいきたいと考えています。そしてその“自信”は、子供たちの学力や体力の向上の土台となり、生きる力に繋がってくるものと信じています。数値化できない、目に見えない、このような非認知能力の実態について、学期末に民間企業と連携した診断調査を実施しました。50問を超える質問に対して、全学年の子供たちが自分自身と向き合い回答しました。調査結果については、子供たちにフィードバックするとともに、第2学期以降の指導に活かしていきたいと考えています。

今年の夏休みも、子供たちにとって様々な体験を通じた非認知能力向上の夏になることを願っています。

<榊原副校長先生>

皆様、1 学期も大変お世話になりました。お陰様で、無事に終業式を終えることができました。感謝申し上げます。

7 月、子供たちはまとめの学習に励みました。タブレットやノートを使って、黙々と課題に取り組む姿、ポスターや新聞などを協力して作成する姿、互いの学習の成果を認め合いながら発表し合う姿などが見られ、感心しました。

2 学期は、運動会、音楽会など大きな行事を予定しています。1 学期に身に付けた力を生かして、苦手とされていることや新しいことにチャレンジしてほしいと思います。子供たちが意欲的に取り組み、自信をつけていく姿をたくさん見られるよう、教職員一同、一人一人の活動とともに心をサポートしていきます。

長いお休みに入ります。元気に充実した日々を過ごせるようにと願っています。

2. 経過

- 6 月 17 日 あいさつ運動 ※荒天のため参加中止
- 6 月 21 日 学校運営協議会（会長出席）
- 6 月 21 日 一中校区（一中、一小、四小）PTA ふれあいコンサート打合せ（本部役員）
- 6 月 22 日 本部役員会
- 6 月 29 日 小学校・中学校 PTA 連合会 合同研修会（会長出席）
- 7 月 7 日 柴崎会館まつり手伝い（※7 月 6 日 前日準備手伝い）
- 7 月 12 日 青少健 常任理事会（副会長出席）※中止
- 7 月 16 日 あいさつ運動

3. 議題

(1) 155 周年について

<背景>

10 年ごとの周年事業では還元されない学年があり、5 年ごとに少し還元することを考えてはどうかといった意見が以前からあった。なお、毎年の開校記念日（3 月 3 日）には PTA 本部から児童にプレゼントをしている。昨年はクリアファイル、一昨年は缶バッジ、その前はエコバッグ。それとは別に 155 周年としてイベントをやるか、プレゼントを豪華にするかなどを検討したい。

≪本部役員会での意見≫

<スケジュール案>

- ・3 月に改めて開催するのはハードルが高いので 11 月 2 日の一小まつりと同時開催ではどうか
→行事委員と相談

<イベント／プレゼント案>

- ・七小の PTA 主催で 65 歳を祝う会が開催され、内容はバルーンリリース、クイズ、PTA 会長と校長先生が歌唱。こちらを参考に、バルーンリリースなら委員の負担も少なく、子供たちも楽しめるのではないか。
- ・謎解き（子ども達がクイズを作成）

- ・鉛筆 1 ダース（予算を上げて記念品にする。155 周年の刻印をする）
- ・黒板アート
- ・下駄箱や教室を飾り付けてサプライズが出来たらいい
→一まつりから 3 月の開校記念日までの装飾継続を想定。ただ学校も音楽会など季節によって飾り付けをしたりするため要相談だが、一部分だけ貸してもらえるのでは。
3 月 3 日は忘れてほしくないため、一まつりと別に出来たら良い。
予算と照らし合わせて今後も引き続き検討していく。

<その他>

- ・実施にあたってはボランティアの募集を検討。
- ・10 年ごとの周年行事では教育委員会や地元の議員さんなどを招き大きく行うことが通例だが、今回の 5 年の行事は、そこまで大きくやらず、保護者と子ども中心でよいのではないか。

<予算案>

- ・周年積立金と前年度までの繰越金（≒教育支援費）での実施を想定しているが、予算額については検討が必要。

(2) 入会手続きについて

<現状>

入会の手続きはなく、自動加入。退会者にのみ退会届の提出を求めている。
会員の名簿がなく、特に会費引き落とし事務では、学校にお手間をかけている。
市内の他校 P T A でも入退会の手続きの整備が進んでいる。

≪本部役員会での意見≫

◇入会手続きの方法（紙？フォーム？アプリ？）

- ・入会手続き後の集約・リスト化するのが大変。現状本部で行う以外考えにくいだが、本部の負担増に繋がり悪循環。加入者数が多い場合、自動加入は悪い手段ではないのではないか。ただ自動加入だが任意であること、退会したい場合の連絡方法の説明はしないといけない。入会届はあったほうが良いが、手間がかかるのでどうするかが課題。
- ・入会手続きをする場合は、Google フォームの利用が便利だと思われるが、2 回入力してしまった、兄弟の分を入力し忘れていたなど入力ミスが起こりうる。フォームで提出してもらよりも紙の方が間違いは少ないが手間はかかり難いところ。
- ・会費ペイなどの民間アプリを利用し始めている学校もある。
- ・会費の引き落としは毎年学校の事務の方をお願いしているが、本来の業務ではないなか負担も多いのが現状。P T A としては、学校に協力をお願いできるならお願いしていきたいが引続き学校との相談が必要。なお、市内では、口座引き落としの学校がまだ多い。
- ・一小的保護者は比較的協力的だが、入会手続きを行う事により退会者の増加に繋がることが懸念され、その場合役員が足りず、現状の P T A 活動の継続では、支障が出る事が予想される。退会者が増え、入会者数の頭数が減っても仕事内容が変わらなければ、より役員の負担が増えるという悪循環に繋がる。活動の仕方自体の検討も必要。
- ・PTA 自体に悪いイメージはないが、役員をやりたいくないという理由だけで退会するのは寂しい。退会した方は役員の負担と強制感に疑問を持っているようだった。
- ・コロナ以前に比べて行事の数は減少しており、負担軽減を進めているものの、どこまで軽減

しても「もっと軽減してほしい」との声がある。

年度で比べている訳ではなく、一回一回の活動で負担感を感じているのではないか。

- ・その年度で集まった人で出来る範囲のことは行う学校も増えている。ただし、それで成功しているかどうかはまだ分からない。
- ・入会手続きをする場合、2月か3月に実施し、4月に総会を迎えられるように準備できるという。新生は入学説明会の時に説明させてもらい、入学後に手続きしてもらおうことになるのではないか。このあたりの流れも整理が必要。

(3) 役員選出方法について

<現状>

- ・児童一人につき6年間で一回は役員をやる、というのを基本としている。
- ・立候補者がいない場合に、未経験者からくじで決めるのは、くじで決まった人からの不満が出やすく、くじを行う学年委員の負担も大きい。
- ・やりたい委員や得意な役割に当たれるとは限らずミスマッチが起こっている。

≪本部役員会での意見≫

- ・現行のくじ引きでの選出をやめ、任意の選出・活動にしていくことについて保護者にアンケートを取るのはいかがでしょうか。
- ・クラスではなく、学年で選出人数を決めるのはいかがでしょうか。仲が良い人同士ですぐ決まる場合や、やりたい仕事がクラス内で重複した時のために流動性があってもよい。また本人が納得していないのにくじで決定するのは可哀そうだし、同じ人が何度もやるのも不平等。
- ・通年で役員を募集するのはどうか。後で声をかけて入るなどがあるかもしれない。
- ・児童一人につき一回必須ではなく、やりたい時にできるとすると手を挙げるかどうかは不透明だし、やる人は少なくなるのではないか。
- ・そもそもPTAの全貌が分かりづらい。各委員の活動内容やPTA年間行事予定一覧を出してはどうか。
→これまでもお手紙とメールで送っているが、当事者にならないと目に入らないのが現状
PTAの活動紹介は広報がその役を担っているが、作成するのが大変。
- ・例えば「PTAのしおり」(A3二つ折り程度の簡易的なもの)など、概要が分かりやすく説明されたものが入学時にあると良いと思う。そういったものを作成してはどうか。
- ・1中では、今年度、試行として、本部から委員を選出(兼任)し、やる気のある人たちで賄う形で全体で10名程度で実施してみるとのこと。人手が足りない場合はボランティアを募る。
- ・PTAはプラスアルファの活動のため、PTA活動がなくても学校生活にさほど支障は出ず、他人事になりやすいでは。活動が子供たちのために大切なものだと感じてもらえないのが残念。専門委員が4つあるが、他校でも専門委員は減っていて、時代の流れなのかもしれない。
- ・小P連の会長研修会の時にPTAの存在意義とは何かを話し合う予定。
一番大切なのはつながりの部分。有事のときや事件があったときはPTAのような塊があると強い。以前も話題に挙がったが、昭島に大きな物流センターが出来て西砂小の通学路でトラックの交通量が多くなり、児童を心配した小学校PTAが市に請願書を出し、全会一致で採択された。PTAがあればすぐ動けるが、なければ誰かが立ち上げて動かなければならない。

また、わくわく・しばっこクラブも一小 PTA の OB が立ち上げた会で、いずれもなければな
 いで何とかなるけれど、長い目で見たときに地域の中で効果を発揮する。
 ただ、なかなか目の前で起こっていることではないので理解が得難い。
 →世の中の潮流に合わせた形に変えていく方向で検討。
 秋頃にどのような活動をして欲しいかアンケート調査の実施を検討

4. 各委員会より報告

I-①学年

- 1年 6/15 先生と行事内容について打ち合わせ
 6/27 先生とプレゼントについて打ち合わせ
 7月上旬おたより配布予定
- 2年 6/10 打ち合わせ（行事内容の決定（大縄跳び）、配布物の準備、
 プレゼントの検討）
 6/26 先生と打ち合わせ（開催日（9/13 6時間目）の決定、プレゼント決定、
 場所の確保）
 6/28 プレゼントの品物確認、正盛堂との交渉
 7/5 先生に当日までの予定の書面渡し、プレゼント発注
- 3年 6/6 交通委員のグループライン参加
 6/15 3年学年委員顔合わせ
- 4年 6/15 引継ぎ資料閲覧
- 5年 6/15 引継ぎ資料受取
 6/21 メールにて打ち合わせ
 6/28 先生へ寄贈の旨の確認（承諾）
- 6年 6/12 行事日程・場所について先生に確認
 6/29 卒対委員と打ち合わせ
- あおぞら 6/21 先生と打ち合わせ（あおぞら 1年生は音楽会開催の1年生より招待）

②行事

- 6/22 第3回行事委員会開催 リモート 企画候補 学校や外部協力者と調整
 7/06 第4回行事委員会開催 リモート 企画決め 155周年祝いとのコラボ

開催内容

晴天) シャぼんだま、シャぼんだまアート、ドッジボール、155周年バルーンリリース
 雨天) ミニ運動会、シャぼんだまアート、ドッジボール、バルーンはお土産

③広報

- 6/10 教職員へアンケート配布
 6/13 印刷会社へ教職員写真データを送付
 6/19 教職員アンケートを印刷会社へ持参
 6/28～7/2 初校正を学校、広報委員、PTA 会長で行う
 7/3～7/7 再校正を学校、広報委員、PTA 会長で行う
 7/7 印刷会社へ校了の依頼

- 7/19 広報誌納品（予定）
- 7/20 仕分け作業（予定）
- 7/22 家庭配布、他校へ送付（予定）

④交通

- 6/8～14 自転車教室開催のお知らせ作製（副会長・会長・副校長先生確認）
外部ご協力者さまへの案内作製（副会長・会長確認）
- 6/14 3年学年委員さんと協働開催決定
- 6/15 会計引き継ぎ
運営委員会（委員長出席）
- 6/22～7/4 ボランティア募集のお知らせ作成（副会長・会長・副校長先生確認）
- 7/4 3学年対象 自転車教室開催のお知らせ 印刷・配布
- 7/8 副校長先生へ自転車教室当日の備品・設備の借用依頼
- 7/12 ボランティア募集のお知らせ 印刷・配布

⑤卒対

- 6/29 第1回 打ち合わせ
 - ①卒業記念品の検討
 - ②卒業を祝う会の内容について意見交換。6年生の学年委員と共催の予定。

II-①本部庶務より

特になし

②本部会計より

特になし

5. 地区委員より報告

- ①しばさき会 : 6/10 定例会、6/9 資源回収、6/10 旗振り、7/5 定例会、7/7 柴崎会館祭り手伝い、7/10 資旗振り
- ②八幡会 : 報告なし
- ③協和会 : 6/10 旗振り、7/7 柴崎会館まつり参加、7/10 資旗振り、7/20, 21 納涼盆踊り大会
- ④東部会 : 報告なし
- ⑤中和会 : 6/2 資源回収、7/7 資源回収
- ⑥南明会 : 6/10 旗振り、7/10 資旗振り
- ⑦共生会 : 6/9 資源回収
- ⑧南親会 : 6/10 旗振り、7/10 旗振り
- ⑨北町会 : 報告なし
- ⑩柴中会 : 6/10 旗振り、7/10 旗振り、7/14 資源回収
- ⑪親和会 : 6/10 旗振り、6/15 資源回収、7/7 柴崎会館まつり、7/13 夏祭り灯籠はがし、7/20 資源回収、7/20 夏祭り灯籠・

- お花飾り作成、7/26 手芸工作教室
- ⑫柴 西 会 : 6/10 旗振り、6/16 資源回収・公園掃除・会館掃除、
7/10 旗振り、7/21 公園掃除・定例役員会
- ⑬柴 五 会 : 6/11 旗振り、6/16 再資源回収・公園清掃、6/30 デイキャンプ、
7/10 旗振り、7/21 公園清掃
- ⑭柴 六 会 : 報告なし
- ⑮柴 富士会 : 6/16 資源回収、6/16 全体清掃、7/21 資源回収

6. その他

《運営委員会での意見、質疑応答など》

◇PTA 会費について

- ・会員減少を見込むならば行事や購入物の精選をし、まずは会費を下げることを検討すべきでは。PTA 会費で物品を購入して児童へのバックや学校への寄贈は違和感があるため、見直せるポイントと考える。

→PTA 会費は近年の活動の縮小や効率化に伴い余剰が出てきていたため、R4 年度より、それまで長年年間 2,400 円だったものを見直し、年度毎に柔軟に会費を設定できるように規約を改正した。

昨年度と今年度は 2,100 円に減額しつつ、コロナ禍後の活動を模索している段階。

児童へのプレゼントや学校への寄贈は、年間の活動の余剰があった場合に早めに余剰を解消すべく還元している。

現在、外注の活用なども試行しており、活動の見直しや余剰の出方を見ながら適切な額に設定していくことを考えている。

なお、市内の小学生 P T A の会費は、概ね 1,000～3,000 円程度で、一小は平均的な額。

各校もいろいろ模索していて、会費は減額していく傾向にある。（名取会長）

◇交通安全教室について

- ・ボランティア募集があったが、交通安全教室の主催はどこになるのか。PTA 行事ならば PTA にボランティアを呼びかけるのはわかるが、学校行事ならば教職員が、市の主催ならば市職員などが体制をとるべきでは。

→交通安全委員会の人数は減少し、交通安全協会の高齢化も問題となっている。

今年度、PTA の定員削減からボランティアを募らせていただいたが、保護者だけでなく、協力団体の人数も年々確保できなくなり、安全な教室運営に支障が出てくるのではないかと感じている。

交通公園や外部委託、規模縮小の話があがっているが、上記から自転車教室についても議論が必要になると考えている。（交通安全委員担当）

→一小の自転車教室の主催者は P T A。3 年生の受講・免許取得後に 4 年生から 1 人で自転車に乗ってもよい、というのは市役所が勧めているものだがあくまで目安として示しているもので、強制的なルールではない認識。この目安に従い、各校で自転車教室が開かれているが、学校が主体で実施したり、実走行などはなしで講習のみで実施したりと、学校や地域によって実施方法は異なる。

一小は、かつて奥多摩街道の諏訪神社前交差点で、小学生の死亡事故があったことを受け、

地域（交通安全協会）やPTAが中心になって特に力をいれて自転車教室を実施してきた。コロナ前までは年間5回ほど開き、保護者も一緒にやる練習会や本気の試験などを実施したが、開催の負担が大きいという声を受け、近年は年間2～3回となっている。どのような形でどのくらい力を入れて行くかは実施主体に任されているため、学校とも相談しながら違う形を模索していくことはできると考える。

市は自転車教室の実施を推奨し、信号などの機器の購入やかかった経費は全額補助していただいているが、現時点では市の職員が主体で実施することは考えていないと思われる。しかし、市議会でも取り上げられている話のため、これから変わっていく可能性もある。

（名取会長）

◇PTA 非加入家庭について

- ・今年度 PTA 役員を務める中で、PTA 非加入家庭があり、この非加入家庭の児童も保護者の方もイベントに参加・景品もいただけるとのことが分かった。
- 児童に対して平等に扱う考えは賛同できるが、非加入家庭の保護者が役員業務を行わず、他の待遇は加入家庭と同等という点は腑に落ちないところがある。
- 会費を払い役員業務も担う加入家庭と非加入家庭とで、どのような差別化をはかっていく考えか。たとえば会費に差をつけるということはできないのか。
- また、加入することによるメリットを知りたい。
- PTAは保護者と先生が会員であり、児童は会員でなく支援対象という考え方で運営している。そのため、保護者の加入の有無で児童に差を設けることはしない。（「教育的配慮」などと呼ばれている）
 - 一方で、保護者に対するサービスは会員と非会員では同じ取扱いにする必要はない。例えば、入校時に着用いただいている赤い保護者証はPTAから配付しており、これにより入校時の手続きを省略できている。保護者証はPTAの会員証を兼ねているため、退会世帯からは返却いただいている。
 - 会費の差については市内では委員長の会費の免除などをやっている学校はあるが、会員を分けている学校は無い。いろいろな参加・賛同の仕方を用意できると良いと考えている。
 - メリットとしては、PTAを通して学校や市に意見を伝えられる、学校や児童の様子が分かるなどがあるが、なかなか直接的なメリットを感じていただけないのは大きな課題。
 - メリットを出そうとするとその分それを運営するための負担が増えるというジレンマがある。どんな活動・メリットがあると良いか、是非皆さんにアイデアをいただきたい。
 - 市内各校のPTAも悩みながら様々な工夫ややり方を模索している。（名取会長）

◇PTA の外部委託について

- ・役員を外部に委託することは考えていないのか。外部委託により、加入家庭も非加入家庭もどちらも役員の業務がないとなれば、感じる不平等さは軽減されるのではないかと考える。
- 外部委託した場合、保護者が関わらなくなることでさらに興味が無くなる方も出てくることが考えられ、個人的にはそのあたりも考慮して委託の検討が必要では。
 - 外部委託した場合は先生や地域の人たちとの交流もある程度維持できる方針とするのが理想と考える。（本部会計担当）
 - 広報委員はスキルが多少必要になってくるため今年度は初めから無理なところは無理してやら

ず実施することを方針として進め、今年度の前期号は外部委託で広報誌を作成した。
昨年度は広報委員で広報誌を製作し印刷のみ業者に発注、今年度は企画～取材を広報委員、デザイン～印刷を外部委託することを検討、という流れだった。
外部委託することで半分ほど負担軽減になったが、印刷会社とのやりとりは委員長、写真チェックや文章チェックは広報委員や学校のチェックの負担があった。
仕事をしながらPTA活動をしている方が大半だが、仕事を休み、子供を留守番させてまで活動するのは違うのでは。担当者の中で可能なものだけ実施する環境にしていきたい。（本部副会長 広報担当）

→外部委託は広報などで使用し始めたが、それ以外の具体的な検討はしていない。

PTA業務を引き受けてくれるサービスが出てきているが、これらのサービスは基本的に「作業」を請け負ってくれるもので、「企画」や「運営」までやってくれるものではないと考えている。

例えば、今回の広報はレイアウトやデザインを初めて外注したが、どんな内容にするかの検討、取材・写真撮影・記事の作成をし、それらのデータを業者に送ったり、学校に確認をとったりは広報委員が行った。意外と外注も大変というのを感じたところ。

イベントや学校行事の手伝いなどもそうだが、どの行事でどんな内容を外注するか、どの業者にいくらの予算で発注するか、などは誰かが検討しなければいけなく支払い事務もある。そのため、外注しても役員の業務をすべてなくすことはできないと思われる。

役員負担が会員の皆さんにとって一番の懸案であることは痛感している。

検討を重ねながら軽減をしてきてはいるが、負担の声が残っているのは認識しているため、引き続き見直ししていく。

外注の活用も大事な選択肢だが、その前にどの活動が必要なのか検討していく必要がある。

会員の皆さんにアンケートを取ることも考えているため、引き続き改善のアイデアをいただきたい。（名取会長）

7. 今後の予定

次回運営委員会： 9月13日（金）学校公開後 ※学年行事等の重複に注意

次回本部役員会： 8月17日（土）

ご意見、お問い合わせは、以下のメールアドレスにご連絡ください。

PTA メールアドレス：tachikawalpta@gmail.com

